ウクライナの花

八王子市立第三・第四・第十・大和田小学校

放課後子ども教室　囲碁教室だより

67 号　2022 年４月

編集　成田　滋　shigerunarita@gmail.com

ブログ　https://naritas.jp/wp1/

八王子囲碁連盟　https://hachigoren.com

◆ 私の紹介 ◆

市内４つの学校で放課後子ども囲碁教室を担当する成田滋です。1942 年生まれで御年？歳です。樺太から命からがら引き揚げ、北海道で育ちました。北海道大学を卒業後、立教大学の大学院で勉強をし直し、本土復帰の直前に沖縄に渡り那覇で幼児教育を始めました。その間、国際ロータリー財団より障害児教育の奨学金をいただき、ウィスコンシン大学大学院で研究し、学位を貰いました。帰国後は文科省の旧国立特殊教育総合研究所で 10 年間研究し、その後国立大学法人兵庫教育大学で障害児教育の教師育成に関わりました。定年退職後、八王子に居を移し八王子囲碁連盟に導かれました。放課後子ども囲碁教室に加わり今年で８年目です。この３月末で３年間の八王子囲碁連盟会長を降ります。

◆ ４月の放課後子ども囲碁教室の日程です。基本から学べます。

第三小学校：４月 14 日、21 日、28 日　毎週木曜日 ２時 30 分～　四階 家庭科室
第四小学校：４月 11 日、18 日、25 日　毎週月曜日 ２時 30 分～　三階 ひらめき教室
第十小学校：４月 15 日、22 日　毎週金曜日 ２時 30 分～　一階 家庭科室
大和田小学校：４月 13 日、20 日、27 日　毎週水曜日 ２時 30 分～　二階　第二音楽室

◆『囲碁の話題―仲邑　菫さん』

（神戸新聞より引用）

日本棋院に仲邑 菫（すみれ）さんというプロ棋士の少女がいます。2021 年３月 15 日に二段に昇格しました。二段昇段の最年少記録だそうです。趙治勲（ちょうちくん）名誉名人が 1966 年に記録した「12 歳３か月」を 55 年ぶりに更新した快記録です。

７歳から一家３人で韓国・ソウルに渡って修業した経験の持ち主です。菫さんはすぐに韓国語のハングルを覚え、両親の通訳にもなっています。小さい子どもは外国語をすぐに習得していくものです。ソウルの小学生低学年のチャンピオンになり、韓国棋院のプロ候補生である研究生になったほどです。

　平日はソウルの囲碁道場で、週末は韓国棋院で対局を重ねてきました。韓国のプロ志望の子どもたちは学校を終えるとすぐ道場に向かい、夜まで囲碁の勉強をする子が多いそうです。「子どもたちの囲碁環境が日本と全く違う。あれを見て、すみれが世界を狙うには韓国で勉強させなければと思った」と、お父さんの仲邑信也九段が言っています。菫さんは、根っからの負けず嫌いで、負けると大泣きしたようです。その勝負魂が道場で高く評価されたと報じられています。

◆『ヒカルの碁』

この少年漫画は、1999 年に出版された囲碁を題材にした最初の漫画です。週刊少年ジャンプで掲載され、その後、全 23 巻の単行本となりました。主人公は、運動好きで頭を使うことが嫌いなごく普通の小学校６年生の進藤ヒカル。ヒカルは祖父の家で古い碁盤を見つけます。碁盤の血痕に気づいたヒカルは、その碁盤に宿っていた平安時代の天才棋士・藤原佐為（ふじわらのさい）の霊に取り憑かれるというストーリーです。

　『ヒカルの碁』では、初心者にもわかる程度の基本ルールの説明にとどまり、対局の進行や技術の解説はほとんどありません。しかし、囲碁の専門用語やルールを知らない読者でもストーリーが理解できるように工夫されています。「神の一手」を目指す姿を描く作品として、是非保護者や子ども達に読んで欲しい本です。

囲碁の格言　岡目八目：本人よりも周りの人のほうが的確な判断が出来るということ